



2025年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年11月8日

上場会社名 ホシデン株式会社 上場取引所 東
コード番号 6804 URL <https://www.hosiden.com/index.html>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 古橋 健士
問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員社長室・財務部担当 (氏名) 鶴 隆文 TEL 072-993-1010
半期報告書提出予定日 2024年11月13日 配当支払開始予定日 2024年12月4日
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：有（機関投資家・証券アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年4月1日～2024年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	116,173	△7.0	7,969	23.2	6,340	△42.5	4,426	△39.5
2024年3月期中間期	124,909	3.5	6,467	△36.3	11,017	△31.4	7,315	△33.1

(注) 包括利益 2025年3月期中間期 6,037百万円 (△40.6%) 2024年3月期中間期 10,157百万円 (△19.1%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期中間期	85.50	—
2024年3月期中間期	140.53	128.93

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期中間期	173,201	139,565	80.6
2024年3月期	175,008	134,870	77.1

(参考) 自己資本 2025年3月期中間期 139,565百万円 2024年3月期 134,870百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	24.00	—	44.00	68.00
2025年3月期	—	19.00	—	—	—
2025年3月期（予想）	—	—	—	19.00	38.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	227,000	3.7	9,200	△28.8	9,200	△49.3	6,400	△45.0	123.20

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

- 2025年3月期の連結業績予想における1株当たり当期純利益につきましては、2024年9月までに新株予約権付社債の転換があり、これに伴う自己株式の処分435,110株を考慮して算出しております。
- 業績予想における為替レートは、1米ドル151円を前提としており、従来と変更ありません。

※ 注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無
新規 一社 (社名)、除外 一社 (社名)
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年3月期中間期	61,410,084株	2024年3月期	61,410,084株
② 期末自己株式数	2025年3月期中間期	9,276,752株	2024年3月期	9,719,522株
③ 期中平均株式数 (中間期)	2025年3月期中間期	51,766,740株	2024年3月期中間期	52,057,425株

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている将来の業績に関する見通しは、現在入手可能な情報による当社の判断に基づく将来の予測であり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。さまざまな潜在的リスクや不確定要素を含んでおり、実際の業績はさまざまな重要な要素により、記載された見通しと大きく異なる可能性もあり、これらの見通しに過度に依存されないようお願いいたします。

(決算補足説明資料の入手方法)

決算補足説明資料については、当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(会計方針の変更に関する注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等の注記)	10

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間(2024年4月～2024年9月)の世界経済は、米国では金融引き締め政策が続く中でも個人消費を中心に堅調に推移しました。一方、中国では不動産不況による影響により個人消費の伸びが鈍化しました。また、欧州では景気の足踏みが続いています。我が国の経済は、円安を背景とする一部企業の収益回復や個人消費の持ち直しなどがあるものの回復基調は緩やかとなっております。また、ドル円の為替相場は、日米の金融政策の違いにより8月から当中間連結会計期間末にかけて円高が進みました。

当社グループの属する電子部品業界におきましては、自動車関連市場では、多くの自動車メーカーにおいては、販売計画は達成されていないものの微増で推移しております。また、移動体通信関連市場につきましては、完全には回復していないものの、販売は回復基調にあります。

このような状況の下で、当社グループでは、移動体通信関連向け、自動車関連向けが増加したものの、アミューズメント関連向け売上が減少し、全体での売上は減少となりました。

利益面につきましては、移動体通信向け事業の収益率の改善やプロダクトミックスによる収益率の改善に加え、為替相場の円安により営業利益が大きく押し上げられました。一方、当中間連結会計期間末では為替相場が円高となったため、前年同期に発生であった為替差益が当期は為替差損となり、経常利益は前年同期を大きく下回りました。

これらの結果、当中間連結会計期間の連結売上高は116,173百万円(前年同期比7.0%減)、営業利益は7,969百万円(前年同期比23.2%増)、経常利益は為替相場変動に伴う為替差損2,253百万円を計上し、6,340百万円(前年同期比42.5%減)、親会社株主に帰属する中間純利益は4,426百万円(前年同期比39.5%減)となりました。

報告セグメントの売上高及びセグメント利益または損失の状況は、次のとおりであります。

機構部品につきましては、移動体通信関連向けは増加しましたが、アミューズメント関連向けが減少したことにより、売上高は98,536百万円(前年同期比9.3%減)となったものの、セグメント利益は5,868百万円(前年同期比28.2%増)となりました。

音響部品につきましては、自動車関連向け、AV機器関連向けが増加したことにより、売上高は10,851百万円(前年同期比16.5%増)、セグメント利益は1,405百万円(前年同期比100.6%増)となりました。

表示部品につきましては、自動車関連向けが増加したことにより、売上高は1,387百万円(前年同期比10.4%増)、セグメント損失は161百万円(前年実績は193百万円のセグメント損失)となりました。

複合部品その他につきましては、健康機器関連向けが減少したことにより、売上高は5,397百万円(前年同期比4.9%減)、セグメント利益は857百万円(前年同期比38.0%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産・負債及び純資産の状況)

当中間連結会計期間末の総資産は、棚卸資産及び売上債権、有形固定資産が増加したものの、現金及び預金、有価証券の減少等により前連結会計年度末比1,806百万円減の173,201百万円となりました。また、負債につきましては、仕入債務が増加したものの、新株予約権付社債の償還及び未払法人税等の減少により前連結会計年度末比6,501百万円減の33,636百万円となりました。

なお、純資産は、利益剰余金、為替換算調整勘定の増加等により前連結会計年度末比4,694百万円増の139,565百万円となり、自己資本比率は80.6%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末比16,573百万円減の60,088百万円となりました。

当中間連結会計期間における営業活動による資金の減少は、1,700百万円となりました。これは主に、税金等調整前中間純利益6,342百万円、売上債権の増加2,746百万円、棚卸資産の増加7,638百万円、仕入債務の増加5,136百万円、法人税等の支払3,308百万円によるものであります。

投資活動による資金の減少は、4,011百万円となりました。これは主に、定期預金の預入による支出8,905百万円、定期預金の払戻による収入7,338百万円、有形固定資産の取得による支出2,411百万円によるものであります。

財務活動による資金の減少は、11,417百万円となりました。これは主に、新株予約権付社債の償還による支出9,085百万円、配当金の支払2,274百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期の業績予想につきましては、2024年8月9日の「2025年3月期 第1四半期決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

為替レートは、1米ドル151円を前提としており、従来と変更ありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	72,287	64,696
受取手形、売掛金及び契約資産	22,754	25,868
有価証券	14,624	7,287
商品及び製品	9,214	8,860
仕掛品	3,730	3,110
原材料及び貯蔵品	19,638	28,635
その他	3,691	3,943
貸倒引当金	△15	△18
流動資産合計	145,925	142,384
固定資産		
有形固定資産	16,641	18,510
無形固定資産	405	396
投資その他の資産		
投資有価証券	7,057	6,916
その他	5,264	5,260
貸倒引当金	△286	△266
投資その他の資産合計	12,035	11,910
固定資産合計	29,082	30,817
資産合計	175,008	173,201

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,673	19,960
短期借入金	1,050	1,050
1年内償還予定の新株予約権付社債	10,008	—
未払法人税等	3,253	1,768
その他	6,057	5,814
流動負債合計	35,042	28,592
固定負債		
退職給付に係る負債	2,307	2,102
その他	2,787	2,941
固定負債合計	5,094	5,043
負債合計	40,137	33,636
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,660	13,660
資本剰余金	19,596	20,001
利益剰余金	106,744	108,896
自己株式	△11,584	△11,056
株主資本合計	128,417	131,501
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,500	3,313
為替換算調整勘定	2,272	4,179
退職給付に係る調整累計額	680	570
その他の包括利益累計額合計	6,453	8,064
純資産合計	134,870	139,565
負債純資産合計	175,008	173,201

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
売上高	124,909	116,173
売上原価	113,607	103,608
売上総利益	11,302	12,565
販売費及び一般管理費	4,835	4,595
営業利益	6,467	7,969
営業外収益		
受取利息	323	479
受取配当金	70	84
為替差益	4,113	—
その他	83	82
営業外収益合計	4,591	646
営業外費用		
支払利息	28	17
為替差損	—	2,253
その他	13	4
営業外費用合計	41	2,276
経常利益	11,017	6,340
特別利益		
固定資産売却益	3	3
特別利益合計	3	3
特別損失		
固定資産除売却損	10	1
その他	—	0
特別損失合計	10	2
税金等調整前中間純利益	11,010	6,342
法人税、住民税及び事業税	3,481	1,604
法人税等調整額	213	311
法人税等合計	3,695	1,915
中間純利益	7,315	4,426
非支配株主に帰属する中間純利益	—	—
親会社株主に帰属する中間純利益	7,315	4,426

(中間連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
中間純利益	7,315	4,426
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	589	△187
為替換算調整勘定	2,328	1,907
退職給付に係る調整額	△75	△109
その他の包括利益合計	2,842	1,610
中間包括利益	10,157	6,037
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	10,157	6,037
非支配株主に係る中間包括利益	—	—

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	11,010	6,342
減価償却費	1,482	1,430
売上債権の増減額 (△は増加)	△749	△2,746
棚卸資産の増減額 (△は増加)	2,554	△7,638
営業未収入金の増減額 (△は増加)	57	280
仕入債務の増減額 (△は減少)	△5,076	5,136
その他	△202	△1,706
小計	9,077	1,097
利息及び配当金の受取額	355	527
利息の支払額	△38	△17
法人税等の支払額	△3,737	△3,308
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,657	△1,700
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△5,052	△8,905
定期預金の払戻による収入	4,708	7,338
有形固定資産の取得による支出	△867	△2,411
その他	64	△33
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,147	△4,011
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△1,164	—
新株予約権付社債の償還による支出	—	△9,085
自己株式の取得による支出	△2,816	△0
配当金の支払額	△2,557	△2,274
その他	△71	△57
財務活動によるキャッシュ・フロー	△6,610	△11,417
現金及び現金同等物に係る換算差額	272	555
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,827	△16,573
現金及び現金同等物の期首残高	66,017	76,662
現金及び現金同等物の中間期末残高	64,189	60,088

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当中間連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。これによる中間連結財務諸表に与える影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を当中間連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前中間連結会計期間及び前連結会計年度については遡及適用後の中間連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。

これによる前中間連結会計期間の中間連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額	中間連結 損益計算書 計上額 (注)
	機構部品	音響部品	表示部品	複合部品 その他	計		
売上高							
外部顧客への売上高	108,659	9,315	1,257	5,677	124,909	—	124,909
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	108,659	9,315	1,257	5,677	124,909	—	124,909
セグメント利益又は損失 (△)	4,576	700	△193	1,383	6,467	—	6,467

(注) セグメント利益又は損失(△)の合計額と中間連結損益計算書の営業利益は一致しております。

II 当中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額	中間連結 損益計算書 計上額 (注)
	機構部品	音響部品	表示部品	複合部品 その他	計		
売上高							
外部顧客への売上高	98,536	10,851	1,387	5,397	116,173	—	116,173
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	98,536	10,851	1,387	5,397	116,173	—	116,173
セグメント利益又は損失 (△)	5,868	1,405	△161	857	7,969	—	7,969

(注) セグメント利益又は損失(△)の合計額と中間連結損益計算書の営業利益は一致しております。